

「公共工事コスト縮減に関する行動指針」

【施策名：(1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し ③設計手法の見直し】

置換材の見直しによるコスト縮減

工事名：大阪港北港南地区岸壁(-16m)基礎置換工事

概要：当初設計の「山砂」は、投入後にSCPの打設が必要となり、工費増、工期の長期化が課題。

このため、工費縮減、工期短縮の観点から、当初設計を再検討し、非液状化材であり、かつ棧橋杭の打設性、横抵抗に関して支障の無い材料である「頁岩土砂」を採用することで工費縮減を図った。

効果：置換材に非液状化材を採用。これにより、液状化対策コストを418百万円縮減。

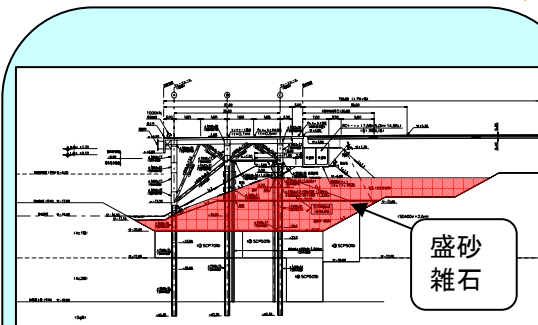
うち、H18年度分は、縮減率53百万円、縮減率=約9%。

大阪港

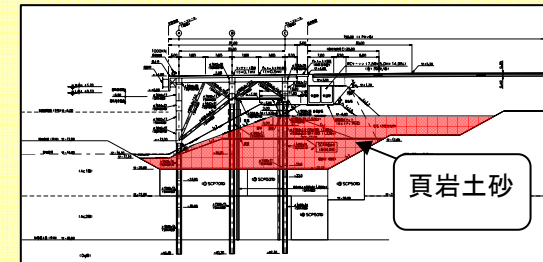


C-12

当初案



見直し



盛砂・雑石投入後
↓
SCP改良を実施（液状化対策）

頁岩土砂投入
(非液状化材)

液状化対策が不用